

令和2年石橋北小学校 学校運営協議会議事録

令和2年11月25日(水) 10:30

於 校長室

【参加者】12名

・学校運営協議会委員(9名)

大塩宗里 國枝勝 野口利男 折原利吉 青柳庄一 青柳高弘 大谷淳子

青木浩美校長 安野和美地域連携教員

・地域学校協働活動推進員 西本由利子

・事務局

坂本美保教頭 岡本直美教務主任

【欠席者】1名 学校運営協議会委員 伊藤弘毅

開会

1 委員長あいさつ

2 校長あいさつ

3 授業参観

4 協議内容等

(1) 石北小の教育(授業及び今年度の様子)について

(2) 学校評価について(学校評価の項目、評価方法等)

(3) 質疑

協議(1) ☆石北小の教育(授業及び今年度の様子)について

校長 創立40周年記念行事、規模を縮小して実施した。
5・6年生から実行委員を募り36名が集まった。スライド作成、司会進行、記念の替え歌作成、缶バッジデザイン、インタビュー等を分担した。

創立40周年記念行事の日に、各クラスで視聴したスライドを視聴。当日は、担当の児童が校内放送で説明しながらスライドを視聴した。

担当の児童たちは、40年に渡る地域の方の思いを知ることができた。
規模を縮小したが、子どもたちのアイディアを生かしながら行うことができた。
式の最後には風船飛ばしをした。

委員 式典に参加したが、式典となると大人中心で行われるが、子ども中心の式典となり素晴らしかった。
大阪での事件からのスクールガードボランティア活動が、栃木県より表彰された。本校のスクールガード折原さんが代表で表彰を受けた。

校長 田植えや稲刈りの学校支援ボランティアを20年以上続けてくださっている小川さんが栃木県教育委員会より表彰された。

委員 授業を参観しての感想はどうだったか。

委員 6年生の授業が面白くて聞いていた。難しいことをやっていると思った。各学年も見だが、みんな明るく楽しそうにやっていて嬉しかった。

委員 子どもの数が増えて2クラスになり、教室内の空間があり良い。子どもと先生とのコミュニケーションもとやすい。6年生の習熟度別授業が良かった。子どもが選択できるのが良い。他の学年でも実施してほしい。地震の時の子どもが素早く机の下に入る様子が素晴らしい。

委員 先生方の個性がある。笑いがあったりして良かった。今後も継続してほしい。子どもとつながっていて良くやっている。

委員 理科では、子どもが積極的に意見を出していた。我々の子どもの時はそういうことはなかった。

委員 5年生の車の学習が自身の職種にぴったり当てはまっていて、急遽ゲストティーチャーとなった。すぐに男の子から質問が出たのはびっくり。みんな先生の方を見ていた。真剣に先生の言うことを聞いてやっている。

委員 モニターを活用し今の時代進んでいると思った。先生が黒板に書く時間が少なくなることで、子どもたちに目を向けることができる。

委員 理科の授業で、先生が子どもたちの意見を上手に引き出しながら、目的に近づいていくところが素晴らしかった。

委員 どのクラスも先生の問いかけに子どもが答えている。そういう北小の授業が普通ではなく授業が成り立たない学校もある。北小は、地域や家庭が安定しているからこのような状況にある。

校長 デジタル教科書（国語・算数）がパソコンに入っていて、拡大もできる。下野市で予算化しており、ICTが進んでいる。

協議(2) 学校評価について（学校評価の項目、評価方法等）

教頭 資料を基に説明

3者（保護者、先生、子どもたち）のアンケートを集計し、分析したものを次回2月に示す予定なので、ご意見をいただきたい。
項目については昨年度と同じだがいかがか。

委員 用語の説明をお願いしたい。

① Q-Uテスト ② T・T ③ ICT ④ S&Uコラボ事業

校長 ① Q-Uテスト。学校生活の満足度を図る。学校裁量で実施しているが、ほとんどの学校で活用されている。

② T・T。複数の先生で授業を進める。今日の6-1の算数では先生が二人いてT・Tの授業をしていた。

10月より新型コロナウイルス感染症対策の支援として、学習指導員とスクールサポートスタッフの2名が配置された。学習指導員は算数の授業を、スクールサポートスタッフは教材作成や印刷、消毒等をしていただいている。

③ I C T。情報機器（パソコン、タブレット）を活用した授業に努めている。創立 40 周年のスライドは、子どもたちがタブレットで写真を撮ったり、パソコンでスライドを作ったりしたものである。GIGA スクール構想で、来年度より一人 1 台タブレットが支給される。下野市は早期から環境整備がされている。

④ S & U コラボ事業。下野市と宇都宮大学が連携して教員の研修を行っている。本校は 3 回希望している。1 回目は道徳、後の 2 回は算数を予定しており、本日の午後、その研修が予定されている。宇都宮大学の院生も来て勉強になっている。

委員 P D C A サイクルの意味は。

校長 計画、実行、評価、改善をしながら、日頃の授業でも、P D C A を意識して行っている。どんなこともやりっ放しにせず、実施後に分析し、手立てを考え改善をしていく必要がある。

委員 学校教育目標の 3 つの並びで、順序性はないと思うが「心豊かな子」が先にあることが嬉しい。

教育目標は 3 つだが、表には最後に「信頼される学校」の項目があるがどうか。

校長 地域の教育力を高めることは、3 つの学校教育目標と同じくらい大切に考えている。地域とともにある学校を目指していきたいため。

委員 評価者が、11 は教職員のみ、13 ~ 15 は児童が入っていないのはどうしてか。

校長 11 は、教職員が自身を振り返るための評価であるため。

13 ~ 15 は、学校が門戸を広げて教育しているか評価してほしいため。

委員 3 年生以上は、地域のことを考えてもいいと思ったので、検討してほしい。

委員 「健康でたくましい子」の具体策に「メディアコントロール」という用語があるが、どういう意味で使われているのか。

校長 テレビ、パソコン（インターネット利用）、ゲーム等の利用時間を決めるなど、自分で使い方をコントロールするという意味である。

委員 「メディアコントロール」がどのような意味で使われているのか分かったが、どちらかというとは別の意味で使われており混乱させてしまう恐れがある。誤解を受けないように、注釈をつけると良い。検討してほしい。

協議(3) 質疑

委員 地域において保護者がどのような支援を必要としているか、アンケートを活用していけるとよいのだが。

校長 保護者から地域における悩みも一部聞こえてきている。

委員 自治会が前面に出てしまうことで保護者の方々と意見が合わないこともある。学校を介して親同士がつながることができると思うので、学校をうまく利用していきたいと思っている。

- 校長 学校だよりに個人名が出ていることが心配であるという保護者の意見がある。学校としては詳しく様子を知らせたいが、個人情報に敏感なため、出さないようにしている。
- 委員 個人情報を保護することが動きを止めていると思う。連絡が取りにくくなることで地域から離れてしまうのではないかと心配である。
- 委員 地域コーディネーターとしての悩みは多いのではないか。
- 委員 スクールガードボランティアをしていて、以前は下校時に 1 列で並んで下校している良い状態があった。学校にも伝えて褒めたことがある。しかし最近の様子は良くない。学校を出てから歩道に入ると 1 列ではなく広がって歩いている。先日、他県で下校中の児童に唾を吐いたという事件があったが、子どもたちが道いっぱいに歩いていたことが原因のようだった。そういう事件を引き起こさないためにも、公共の歩道では 1 列で歩くように指導してほしい。
- 校長 登下校の際は 1 列で歩くよう、繰り返し指導していきたい。
- 委員 ボランティアの集まりは今年度もあるのか。
- 協議は以上

5 給食試食会

閉会

次回の予定

- ・ 第 3 回 2 月 1 5 日（月）学校評価、協議、給食試食会